

「旭川厚生病院医誌」投稿規定

1. 本誌は旭川厚生病院の機関誌として、当院の職員及びその関係者の投稿又は依頼により年2回発行する。機関誌名は和文で「旭川厚生病院医誌」、英文で“Journal of Asahikawa Kosei Hospital”とする。
2. 本誌は、
 - 1) 医学関係論文（総説、原著、症例報告など）。
 - 2) 年報（研修会記録、抄録など）。
 - 3) 各科の活動状況、資料、などから編成する。
尚、原則として他誌に未発表のものとする。
3. 原稿様式
 - 1) 原稿は和文の場合、総説、原著では24×23字詰原稿用紙20枚以内（図、写真、表を含む夫々原稿用紙1枚と計算し、文献を含む）、症例報告は15枚以内（文献を含む）とする。
英文では Typewriter 用紙（縦30×横21cm）に1行おき28行以内で枚数は和文と同様。
できるかぎりパソコン（Macintosh, Windows どちらも可）のワープロソフトを使用し、TEXT形式で本文を保存した3.5インチ（2HD）フロッピーディスクを添付する。（太郎, MS Word, クラリスワークスなど大方のソフトは変換可能ですが、ワープロ専門機を使用の場合変換できないことがあります）
 - 2) 和文標題、著者名、所属名と共に標語の英訳、ローマ字著者名、英文機関名を併記する。
 - 3) 5語以内の Key word を和文と英文で夫々入れ、running title（30字以内）も併記する。
 - 4) 略語は初出部に正式名を書き、それに続いて略語を括弧に入れて示す〔例：Reactive lymphoid hyperplasia (RLH)〕
 - 5) 写真は本文中に挿入箇所を明記し、必ず一枚ずつ用紙に貼付し、下に説明を和文若しくは、英文で加える。
写真のサイズは手札サイズ以上の紙焼きとし、原則として白黒とする。（カラー印刷希望の場合は投稿者の実費負担となる）
図表はできるかぎりそのまま使えるよう一枚ずつ出力し、写真同様本文中に挿入箇所を明記して下に説明を加える。図表が数枚にわたる場合は大きさを揃える。
 - 6) 引用文献は最大20以内とし、本文中の右肩に番号を付し、末尾に引用順に一括する。
欧文雑誌名は“Index Medicus”邦文誌は「日本医学雑誌略号表」に準ずる。省略名にピリオドをうたず筆表名は3名まで（それ以上は“ほか”“et al”）、題名、誌名、巻数、頁数（通巻頁の始めと終り）、発行年の順に記す。
単行本の場合は著者名、題名、編集者名、発行所名、発行地名、頁数、年号の順に記す。
例・雑誌
齋藤博哉, 鎌田 正, 花輪 真, ほか：リザーバーシステムを利用した胆道内瘻術. JSAIR 6 : 106~107, 1991
Jacobsen FK, Abildtomp N, Lausen SO, et al : Acrokeratosis Pilonic (Bazex' Syndrome). Arch Dermatol 120 : 502-504, 1984
例・単行本
堀尾 武：腫瘍随伴皮膚症、腫瘍随伴症候群（井村 裕夫, 高久 史磨編）, サイエンスフォーラム, 東京, 197~280, 1987
Cranford PT : Care before and after surgery. Campbell's Operative Orthopedics (Crenshan AH, ed). Mosby, Saint Louis, 1~8, 1971
 - 7) 数字は算用数字を用い、度量衡の単位は m, cm, l, g などとする。
 - 8) 400字以内の和文抄録と200語以内の英文抄録を添付する。
 - 9) 別刷は50部まで無料贈呈する。（追加別刷は有料。50部単位で受ける）
4. 年報には院内の研修会の記録のまとめを載せる。
5. 各科、各部門の活動状況や統計資料は随時掲載する。
6. 編集委員会事務局を図書室におくことにする。